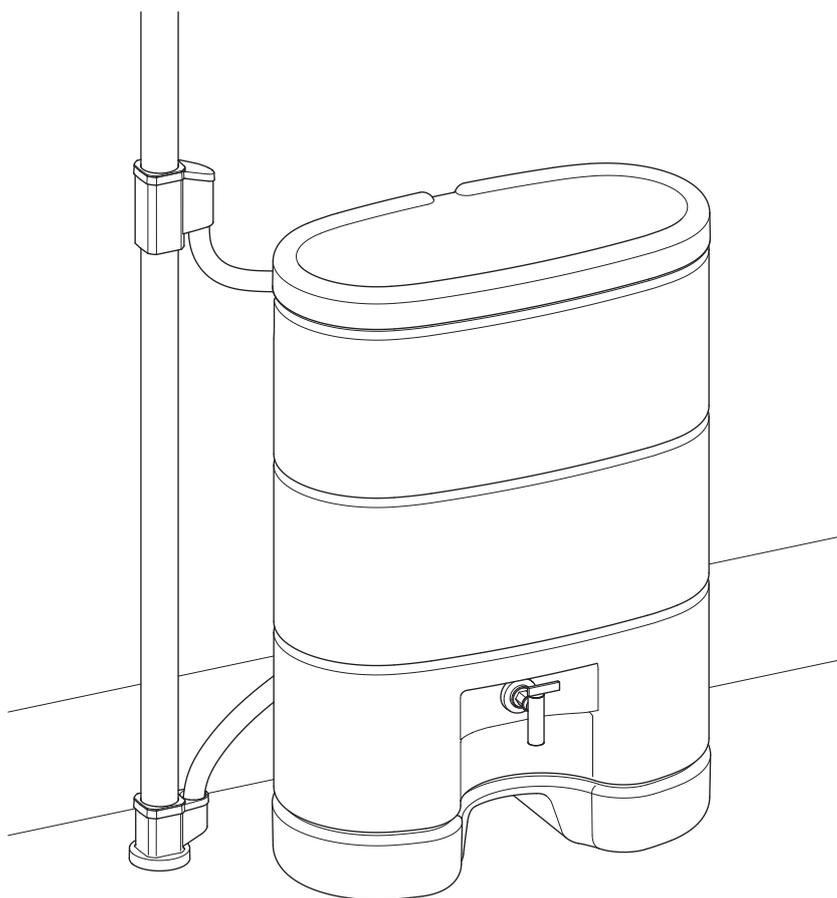


# 取付・取扱説明書

## エコリス 雨水タンク (容量150L)



安全上のご注意 2

各部の名前 4

施工前の準備 5

施工方法 6

施工後の確認 10

使いかた 11

お手入れのしかた 12

故障かな? 13

仕様 14

保証書 15

はじめに

取り付けかた

使いかた

困ったとき

＜施工される方へ＞  
取付・取扱説明書は  
必ずお客様にお渡しください。

■この商品の施工には  
「接続キット」が必要です

このたびは、エコリス 雨水タンク(容量150L)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(2~3ページ)は、施工前、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- 専門工事店様が、施工される場合は、この取付・取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。
- この取付・取扱説明書は、必ず保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

**保証書付き**

# 安全上のご注意

必ずお守りください

施工前、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

- 施工やお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。



## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



## 警告 (施工時)



禁止

- 雨水タンク内に電気製品を入れない
  - ・感電や漏電火災につながるおそれがあります。

※水中ポンプなどを使用する場合は、使用のポンプメーカーにご相談ください。



必ず守る

- 満水重量(約220kg)に十分耐えうる場所に確実に施工し、強風や落雪の影響を受ける場所には施工しない
  - ・破損やけがにつながるおそれがあります。
- 雨水タンクは、水平で安定した場所に施工する
- 雨水タンクがぐらつかないか確認する
- 傾斜面の場合は、雨水タンクが水平になるようにして、ぐらつかないことを確認する
- 転倒防止のため、チェーンなどで必ず固定する
  - ・転倒により、破損やけがをするおそれがあります(転倒防止用の部材は必ず金属製を使用してください)。
- 幼児・子供がいる場合は、2階以上のバルコニー(ベランダ)で使用しない
  - ・転落やけがをするおそれがあります。
- 切断作業は正しい服装と保護具(軍手など)を着用する
  - ・けがのおそれがあります。
- 共用施設を使用する者は、設備および、物品などを無断で移動、改廃または雨水タンクを新設しない
  - ・違法行為により、その損害を弁償しなければなりません。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告 (使用時)



禁止

- ためた雨水は絶対に飲み水として使用しない
  - ・食中毒のおそれがあります。
- ガソリンや灯油、その他薬品などの貯留には使用しない
  - ・爆発・火災につながるおそれがあります。
- 防腐剤・殺虫剤、肥料などを入れない
  - ・誤って飲んだ場合、中毒につながるおそれがあります。
- タンク本体、フタ、蛇口に乗ったり、無理な力をかけない
  - ・破損やけがにつながるおそれがあります。
- 地震などの揺れを感じたときは、雨水タンクに近寄らない
  - ・大型の地震の場合は転倒するおそれがあります。

## 注意 (施工時)



禁止

- 火元に近い場所に設置しないでください
  - ・変形・火災につながるおそれがあります。



必ず守る

- 施工完了後、水をためて水漏れやぐらつきがないことを確認する
  - ・水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。
  - 安定が悪かったり傾いたりした場合は、すぐに水を抜き使用を中止してください。
- バルコニー（ベランダ）などで使用する場合は、こぼれた水などでしみになるおそれがあります
  - ・建物を傷めるおそれがあります。

## 注意 (使用時)



禁止

- 雨水タンクに重量物などを立てかけない
- 雨水がたまったまま雨水タンクを移動させない
- 雨水タンクの分解、改造はしない
  - ・破損やけがにつながるおそれがあります。
- 火気を近づけない
  - ・変形・火災につながるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤およびブラシなどの道具を使って清掃しない
  - ・破損・火災・けがにつながるおそれがあります。
- 凍結する時期は雨水タンクの使用をいったん止め、ためた雨水を抜き、たて樋から外す
  - ・凍結により雨水タンクやたて樋が破損するおそれがあります。



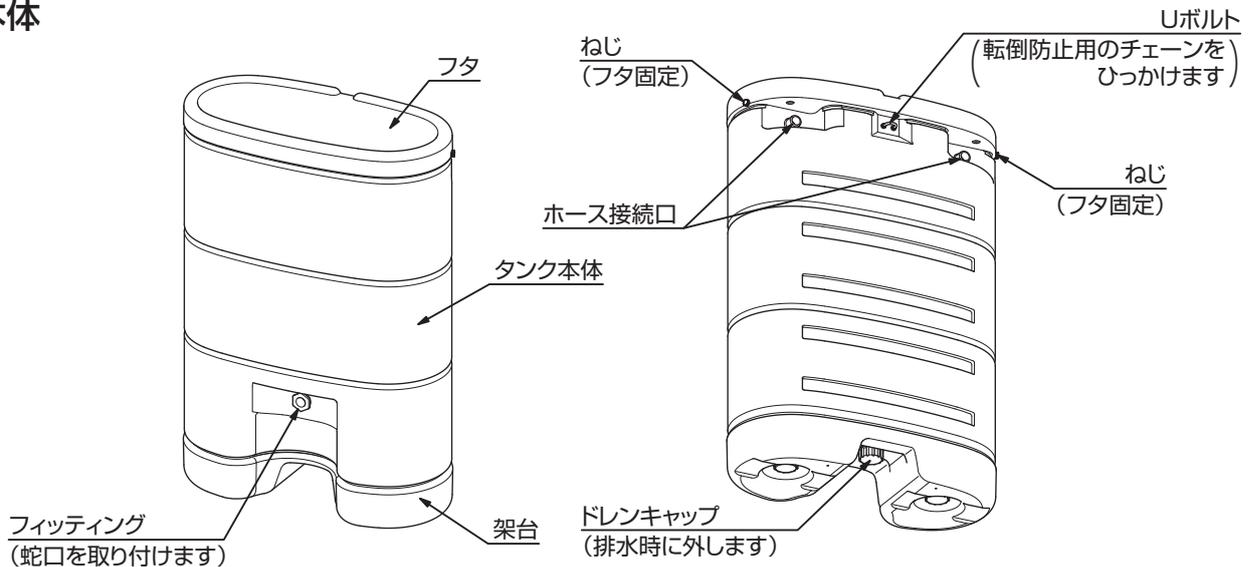
必ず守る

- 台風など強風のおそれがあるときは、本体の半分以上に水をいれておく
- 「取水ジョイント」のフィルターや本体内部は定期的に清掃を行う
  - ・あふれた水で建物を傷めるおそれがあります。

# 各部の名前と働き

## 雨水タンク 本体(150L)

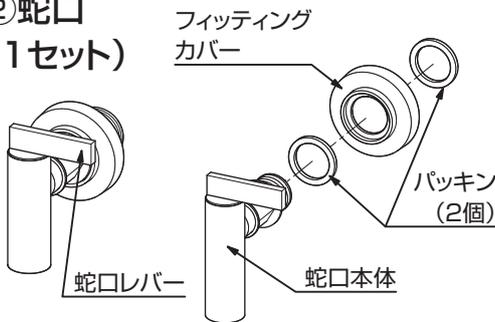
### ①本体



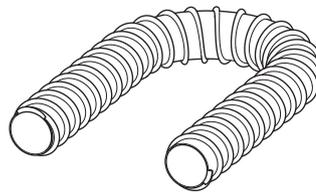
・雨水タンクの施工には、「接続キット(別売)」と転倒防止用のチェーン(市販品)などが別途必要となります。

## ■ 付属品

### ②蛇口 (1セット)



### ③ホース(2m×1本)



※2本に切って使います

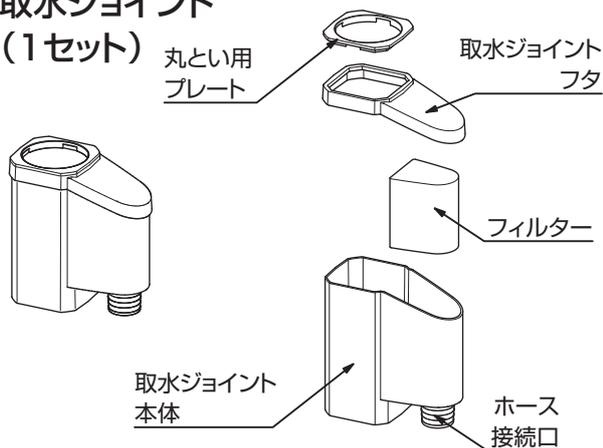
### ④ホースバンド(3個)



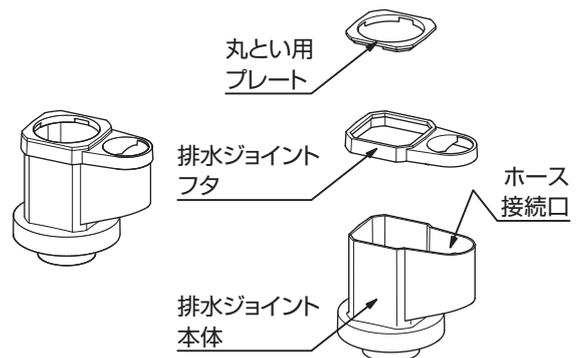
### ⑤取付・取扱説明書(本書)

## 接続キット(住宅たて通用)

### ①取水ジョイント (1セット)



### ②排水ジョイント(1セット)



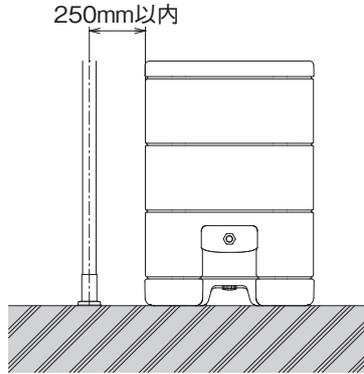
# 施工前の準備

## ①最初に、4ページに記載の部材がすべて揃っているかご確認ください

- 固定用のチェーン、アンカーボルト、打ち込み棒などは金属製の市販品をご用意ください。(6ページ)

## ②施工場所の確認

- たて樋の中心から本体端部までの距離は250mm以内としてください。付属のホースが届かなくなる可能性があります。



### 警告

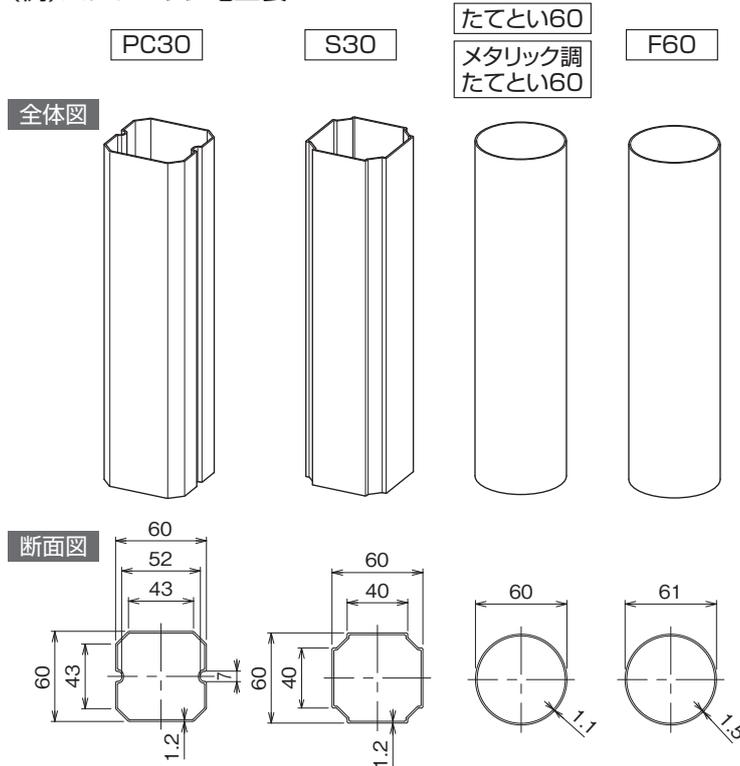


必ず守る

- 水平で安定した場所に施工する
- 満水重量(約220kg)に十分耐えうる場所に確実に施工し、強風や落雪の影響を受ける場所には施工しない
- 転倒により、破損やけがをすることがあります。

## ③たて樋形状の確認

下図同等サイズのたて樋に対応 (単位:mm)  
(例)パナソニック電工製

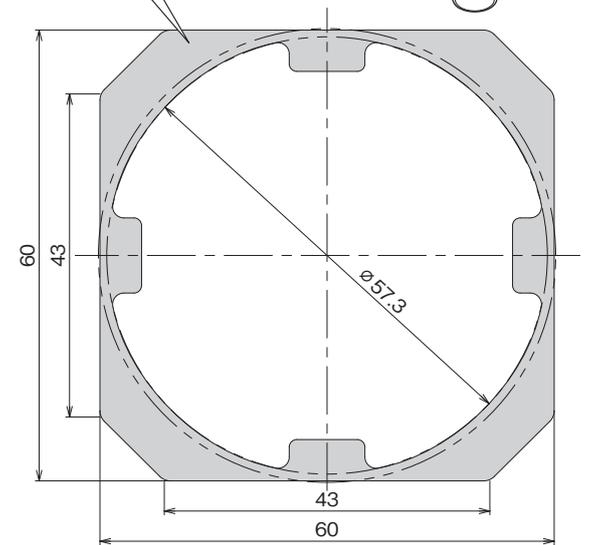


※他社製たて樋の場合、使用可能かどうか事前に下記でご確認ください。

### たて樋差し込み部

「取出します」下部の、この「たて樋差し込み部」に入るたて樋であれば、他社製でも使用できます。(ただし、カン合がきつい場合や、ゆるい場合があります。)

取水ジョイント

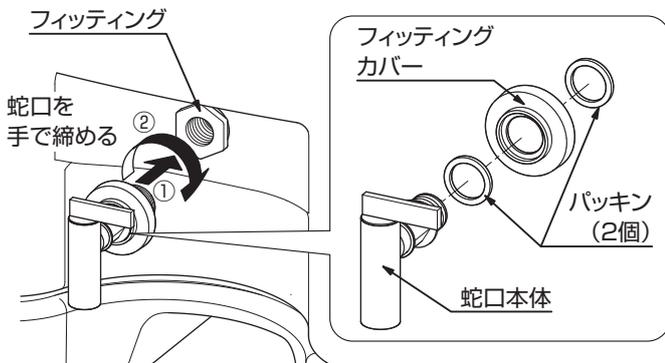


## ④施工時に準備するもの

- 金属製のチェーン、固定フックなど(転倒防止用)
  - ものさし、または巻尺
  - ノコギリ(金切もしくはプラスチック用)
  - 鉛筆もしくはマーカー
  - カッターナイフ、ペンチまたはニッパー(ホース切断用)
  - プラスドライバー(ホースバンド固定用)
- ※軍手なども必要に応じてご用意ください。

# 施工方法 (図は、たてとい60で説明しています)

## 1. タンク本体に蛇口を取り付ける



- 確認事項**
- ・パッキンのねじれのないこと
  - ・パッキン2個が正しい位置にあること
  - ・パッキンの付け忘れのないこと

**注意**

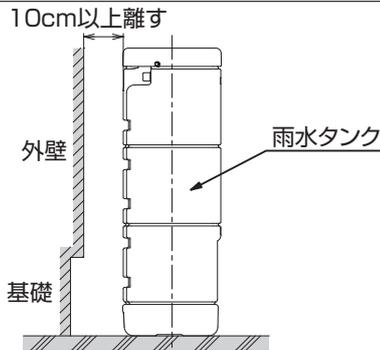


必ず守る

- ・蛇口を工具で締めない
- ・締めすぎにより破損や水漏れの原因となります。

●蛇口は仮締めしてください。 ※「施工後の確認(10ページ)」の段階で蛇口を本締めします。

## 2. 施工場所に雨水タンクを置く (施工場所については5ページをご参照ください)



**注意**

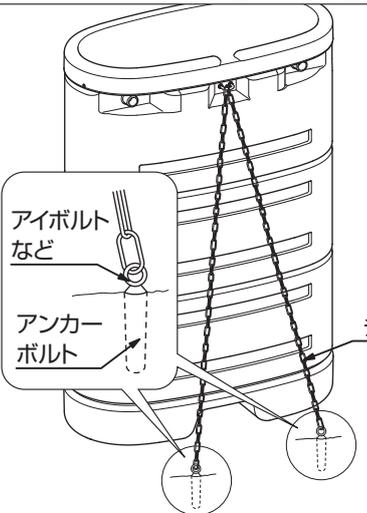


必ず守る

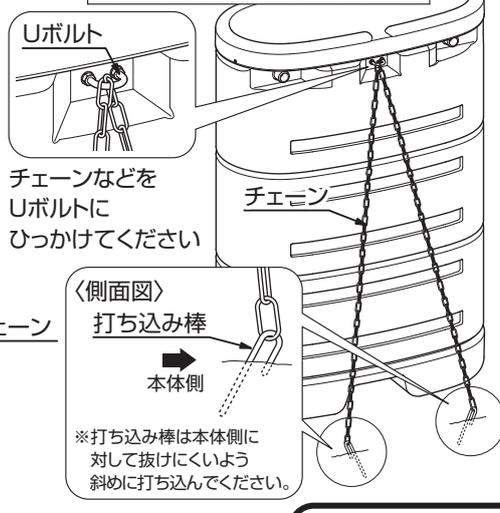
- 壁面と雨水タンク背面との距離は10cm以上離して施工する
- ・満水時に膨張し前方に倒れるおそれがあります。
- ・ホースを通すための隙間として必要です。

## 3. 転倒防止のため、チェーンなどで固定する

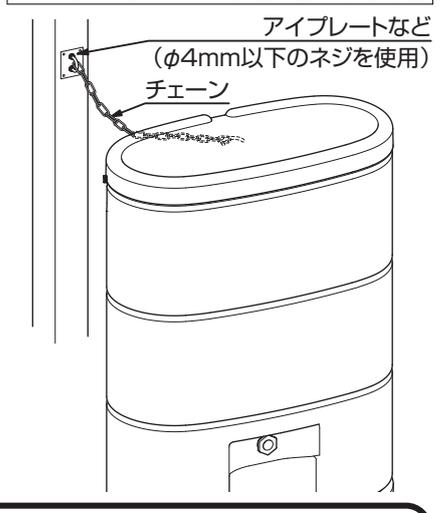
例) コンクリート床面に固定する場合



例) 土などの床面に固定する場合



例) テラス・カーポートの柱に固定する場合



- ※チェーンなどはたるまないように取り付けてください。
- ※アンカーボルトや打ち込み棒などが荷重により抜けない堅固な場所に接続されているか確認してください。
- ・チェーン、アンカーボルト、打ち込み棒、アイプレートなどは金属製の市販品をご用意ください。

**警告**



必ず守る

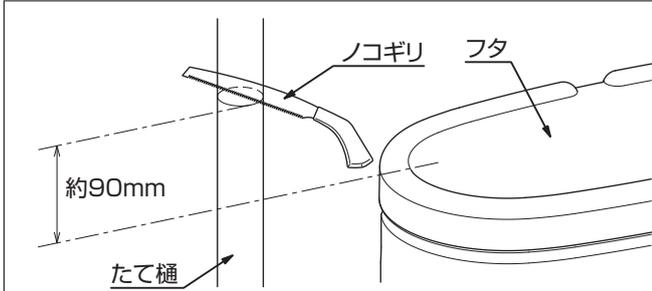
- 転倒防止のため必ず雨水タンクを固定する
- ・転倒により、けがをするおそれがあります。

# 施工方法 (図は、たてとい60で説明しています)

※φ40たて樋に取り付ける場合は、「接続キット(φ40たて樋用)」の取付説明書(E299)で施工してください。

## 4.排水ジョイントの取り付け

①フタの上面より90mm高い位置で、たて樋をノコギリで切断します。



※切断面が水平になるように切ってください。  
※切断の際、壁などを傷つけないように注意してください。

### 注意



必ず守る

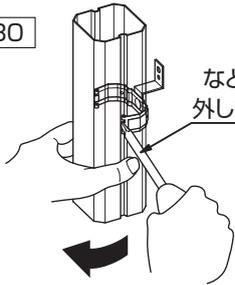
- たて樋の切断位置が正しい寸法であることを確認する
  - ・90mm以下では水がたまりにくくなるおそれがあります。
- たて樋切断面のバリは取り除く
  - ・水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。

②たて樋を外します。

- ・たて樋と排水管との接続構造より、対応が異なります。
- ・たて樋固定金具が取り付けられている場合は、一度固定金具を外してください。

〈たて樋固定金具の外し方〉 (例) パナソニック 電工製

PC30



ドライバー  
などを使用して  
外してください。

たてとい60

メタリック調  
たてとい60

F60

S30

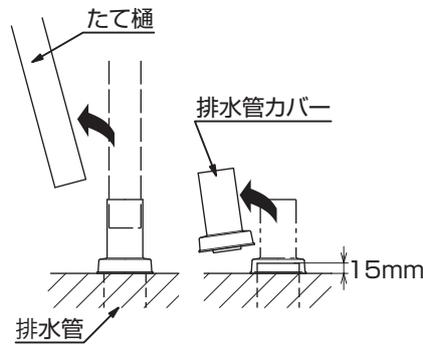


可動部の  
ツバ部分を手前に  
引っ張ってください。

※図は、たてとい60で  
説明しています。

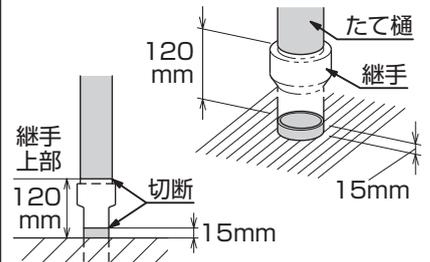
〈A〉排水管カバーがある場合

- ①切断したたて樋を排水管カバーから外します
- ②排水管から排水管カバーを外します



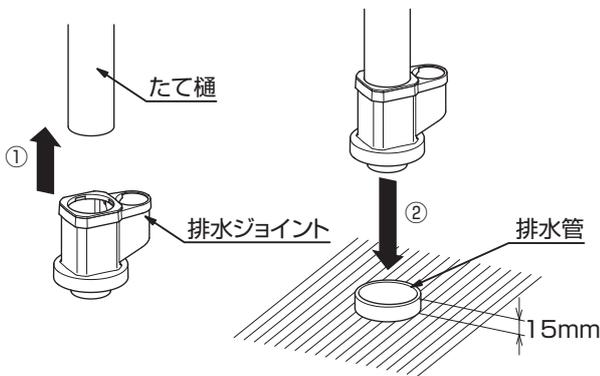
〈B〉排水管カバーがない場合

- ・地面 (GL) より15mm程度の高さで排水管を切断してください
- ・さらに、たて樋と排水管が継手などで接続されている場合は、継手上部で切断してください



※地面 (GL) から排水管の継手上部までの距離が120mm以上ある場合は別途たて樋を準備する必要があります。(部材は、ホームセンターなどで購入が可能な場合があります。)

③たて樋に戻しますを取り付け、戻しますを排水管に接続します。

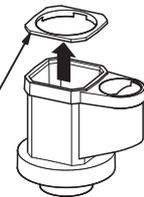


- ・たて樋が排水ジョイントの奥まで挿入されていることを確認してください。
- ・取り外したたて樋固定金具は、再度固定してください。

たて樋がPC30、S30の場合

排水ジョイントの丸とい用プレートを外してください。

丸とい用プレート



### 注意



必ず守る

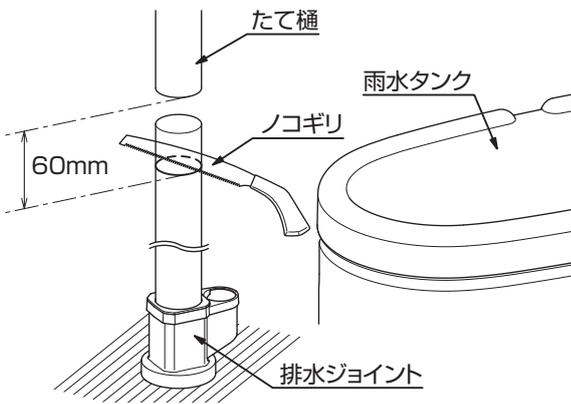
- たて樋と排水ジョイントは接着しない
  - ・たて樋の伸縮により、たて樋や排水ジョイントが破損するおそれがあります。

# 施工方法 (図は、たてとい60で説明しています)

※φ40たて樋に取り付ける場合は、「接続キット(φ40たて樋用)」の取付説明書(E299)で施工してください。

## 5.取水ジョイントの取り付け

- ①たて樋の隙間が60mmとなる位置に、鉛筆もしくはマーカーで切断線を描き、ノコギリで切断してください。



• 切断面が水平になるように切ってください。

※たて樋の隙間が60mm以上ある場合は別途たて樋を準備する必要があります。部材は、ホームセンターなどで購入が可能な場合があります。

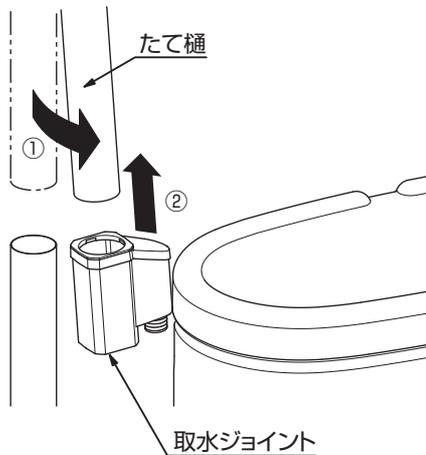
### 注意



必ず守る

- たて樋切断面のバリは取り除く
- 水漏れにより、建物を傷つけるおそれがあります。

- ②上側のたて樋を少し手前にずらして、取水ジョイントを上方向に差し込んでください。



• 必要に応じて、たて樋固定金具を外してください。

たて樋がPC30、S30の場合

取水ジョイントの丸い用プレートを外してください。

丸い用プレート



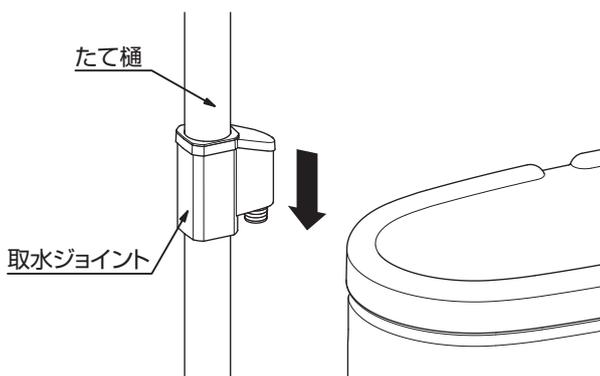
### 注意



必ず守る

- 取水ジョイントのフィルターが奥まで入っていることを確認する
- 雨水に含まれる砂やほこり、ゴミなどが雨水タンクに流入し、水がにごったり蛇口の目詰まりの原因となります。

- ③取水ジョイントの接続部が下側のたて樋に接続できるよう、下方向にとまるまでスライドさせてください。



• たて樋固定金具を外した場合は、再度固定してください。

### 注意



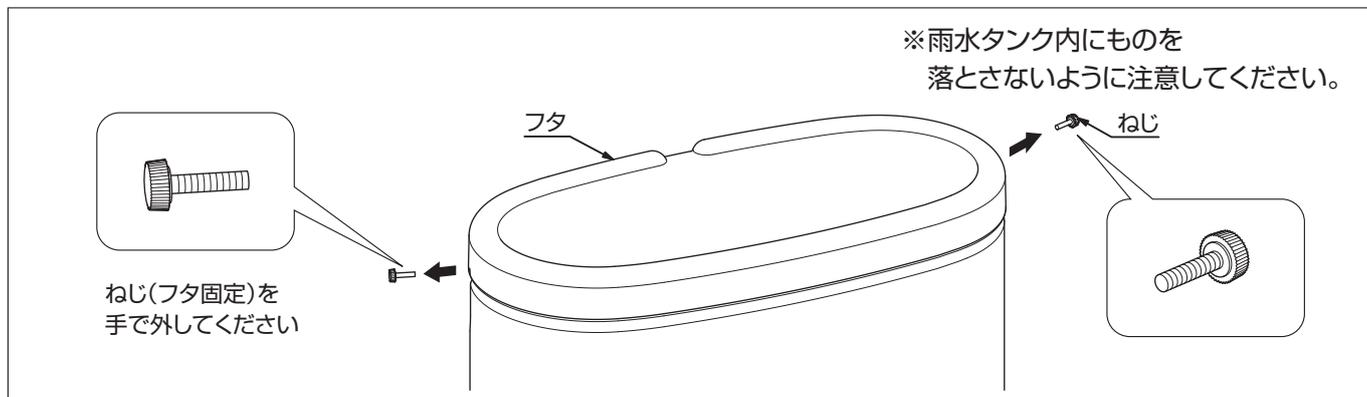
必ず守る

- 取水ジョイントがたて樋に確実にハマっていることを確認する
- 水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。
- たて樋と取水ジョイントは接着しない
- たて樋の伸縮によりたて樋や取水ジョイントが破損するおそれがあります。

# 施工方法 (図は、たてとい60で説明しています)

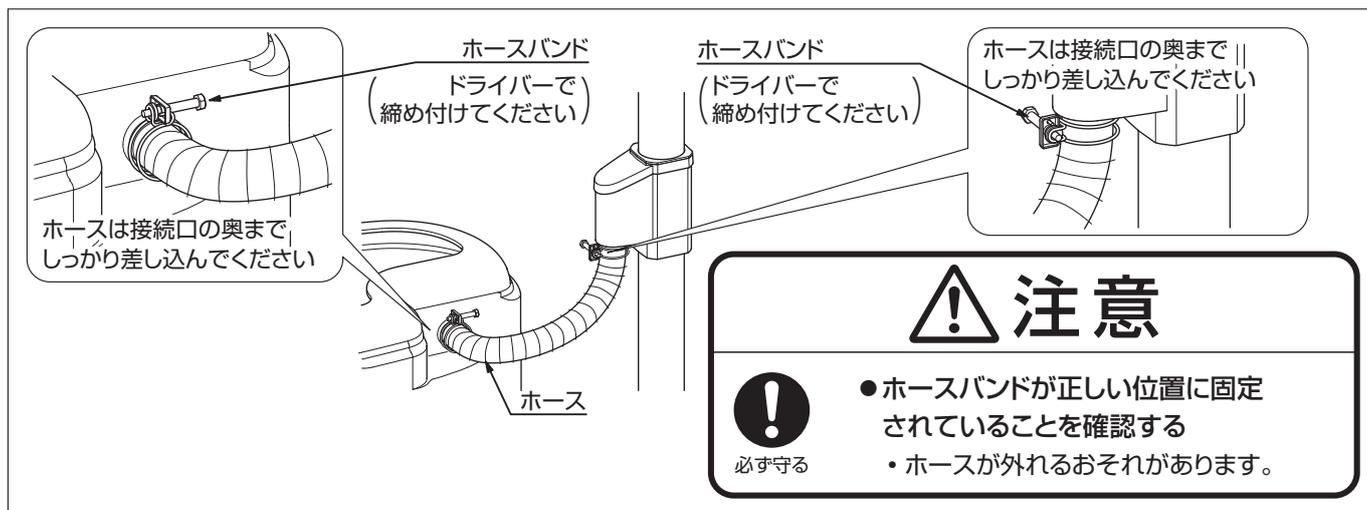
## 6.ホースの取り付け

①雨水タンクのフタを外してください。

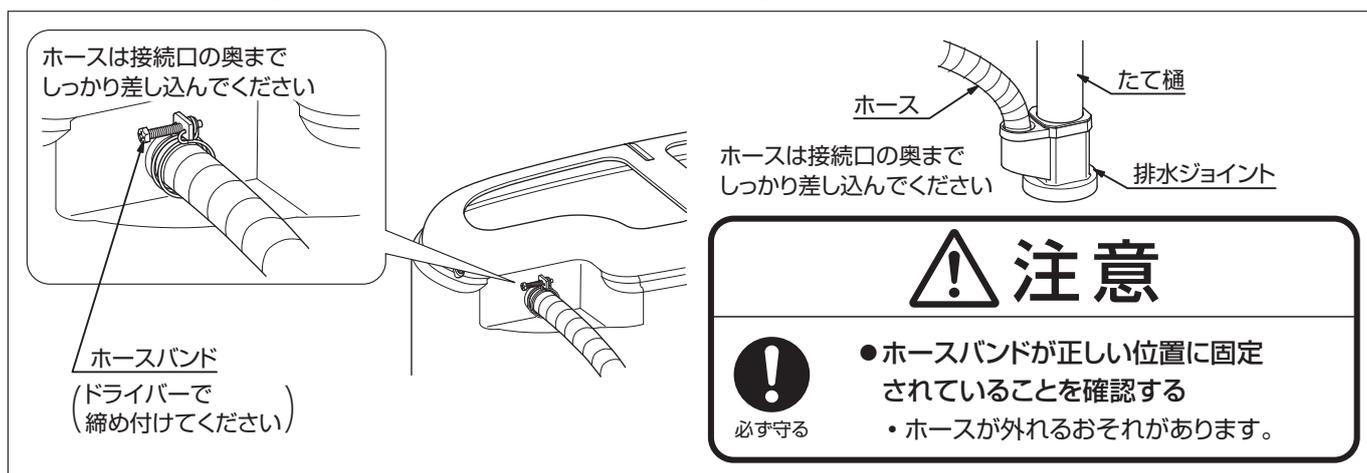


②雨水タンクに取出します、および戻しますを接続するために、あらかじめホースを必要な長さに切断してください。

③タンク本体のホース接続口と取水ジョイントのホース接続口にホースを取り付けてください。両方の接続口ともホースバンドでホースを固定してください。



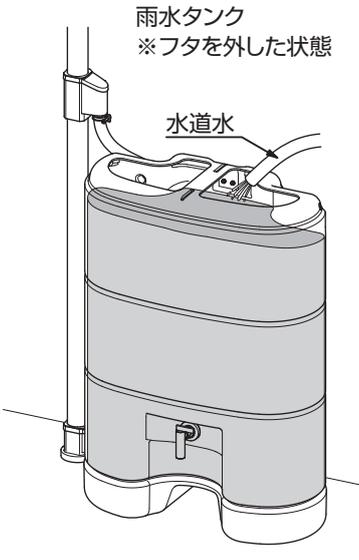
④タンク本体のもう片方のホース接続口と排水ジョイントのホース接続口にホースを取り付けてください。タンク本体の接続口側のみホースバンドでホースを固定してください。

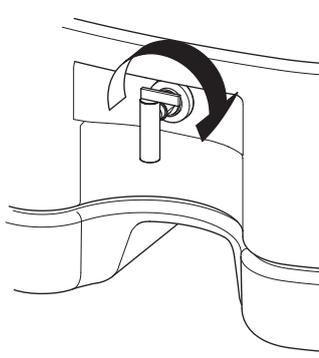


# 施工後の確認

## ①安全確認のため、雨水タンク内に水をいれる。

取り付けかた  
施工後の確認





• 雨水タンクを満水にすると若干の前後の膨れがありますが、性能や強度には影響ありません。

⚠ 警告

● 雨水タンクの安定が悪かったり傾いたりした場合は、すぐに水を抜き使用を中止する  
・ けがにつながるおそれがあります。

必ず守る

⚠ 注意

● 蛇口を工具で締めない  
・ 締めすぎにより破損や水漏れの原因となります。

必ず守る

• 蛇口を手で締め付け、蛇口根元からの水漏れが止まった時点からさらに時計回りに1回転以内で締め、蛇口の吐水口が下を向くようにします。

## ②フタを閉めてください。・必ずねじ(2本)でフタを固定してください。

これで施工は完了です。この状態で、下の「施工完了チェックリスト」にて施工点検をおこなってください。

## 施工完了チェックリスト

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 雨水タンクがチェーンなどで固定されていますか？</li> <li>• また、チェーンなどの固定は確実ですか？</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 雨水タンクが前後・左右に傾いていませんか？</li> <li>• 雨水タンクが大きくガタつくことはありませんか？</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取水ジョイントはたて樋に正しく接続されていますか？</li> <li>また、フタよりも高い位置に接続されていますか？</li> <li>• ホースは確実に接続され、ホースバンドで固定されていますか？</li> <li>• 取水ジョイントのフィルターが奥まで正しく入っていますか？</li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 排水ジョイントはたて樋に正しく固定されていますか？</li> <li>• ホースは確実に接続されホースバンドで固定されていますか？</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タンク本体のホース接続口(2か所)にホースが確実に接続されていますか？</li> <li>また、ホースがホースバンドで固定されていますか？</li> <li>• ホースがつっぱった状態になっていませんか？</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 蛇口がゆるんでいたり回転したりしませんか？</li> <li>• 蛇口から水漏れはありませんか？</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フタは正しく取り付けられていますか？</li> <li>• ねじ2本で固定されていますか？</li> </ul>	

### 施工される方へのお願い

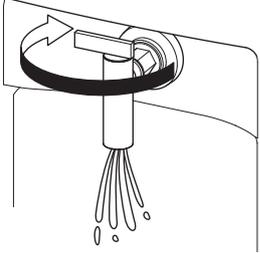
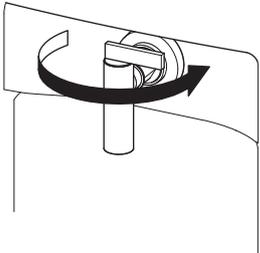
- 取付・取扱説明書(本書)をお客様に必ずお渡しください。

施 工 日	施 工 店 名	担 当 者
年 月 日		

# 使いかた

ご使用の前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

## ■水の出しかた／止めかた

<p>蛇口レバーを左方向に回してください</p>  <p>水が出ます</p>	<p>蛇口レバーを右方向に回してください</p>  <p>水が止まります</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 蛇口レバーの位置で、水の出る量を調整できます。</li> <li>• 残水量が少ない場合、水の出る量が少なくなります。</li> <li>• 急に蛇口を全開にすると水が勢いよく出てしぶきが飛散するおそれがあります。</li> <li>• 夏場には熱い水が出てくるおそれがあります。</li> </ul>
---	---	--

## ■水の取りかた

• ジョーロやバケツなどを蛇口の下において水を取ってください。

※ジョーロやバケツの大きさや形状によっては、蛇口の下に入らない場合があります。



**⚠ 注意**

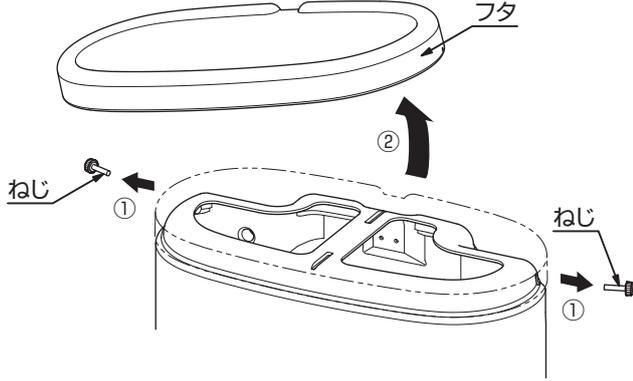
**!** 必ず守る

- ジョーロやバケツなどを蛇口に勢いよく当てない
- 破損や水漏れの原因となります。

## ■フタの外しかた／取り付けかた

• フタを固定しているねじを手でゆるめ、取り外してください。

• フタを取り付けるときは、逆の順番でフタを正しく固定してください。



**⚠ 警告**

**⊘** 禁止

- 本体内に電気製品を入れない
- 感電や漏電火災につながるおそれがあります。

**⚠ 注意**

**!** 必ず守る

- フタは必ずねじ(2本)で固定する
- 落下してけがをするおそれがあります。
- フタの上に不安定なものや重量物は置かない
- 破損したりけがをするおそれがあります。

# お手入れのしかた

## ■取水ジョイントのフィルターの清掃(月1回)



取水ジョイント(フタ)  
① 上方向にスライドさせてください  
取水ジョイント(本体)  
②  
フィルター

フィルターを取り出し、水洗いしてください  
※水洗い後、フィルターを取出します(本体)の奥まで入れてください

- フィルターは消耗品です。  
交換時期は使用状況により異なります。変形や破損があった場合、お買い上げの販売店などにお問い合わせのうえ、お買い求めください。

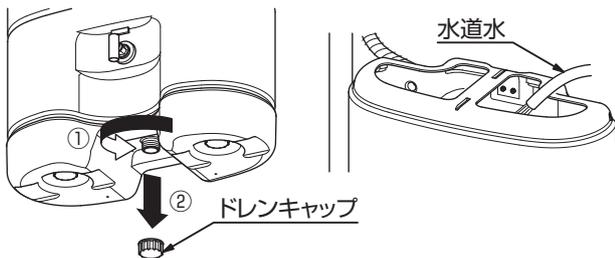
### ⚠ 注意

- フィルターの清掃に、酸/アルカリ性の洗剤やシンナーやベンジンなど有機溶剤を使用しない  
・変質や破損の原因となります。

必ず守る

## ■本体内部の清掃(目安として、梅雨・台風前後・雪どけ後)

- 内部に砂などがたまると水が出にくくなったりする原因となります。
- ドレンキャップとフタを外し、雨水タンク上部から水道水で本体内を水で洗ってください。
- 清掃後はドレンキャップを閉め、フタを正しく取り付けてください。



水道水  
①  
② ドレンキャップ

### ⚠ 注意

- ドレンキャップを外す前に蛇口から出る分の水を抜く  
・水の勢いでケガをするおそれがあります。

必ず守る

## ■本体表面の清掃

- 本体表面も定期的に水洗いすることをおすすめします。
- 汚れがひどい場合は、布などに中性洗剤をつけて汚れをふき取った後、洗剤を水でよく洗い流してください。

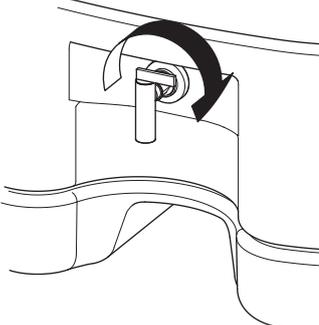
### ⚠ 注意

- シンナーやベンジンなどの有機溶剤およびブラシなどの道具を使って清掃しない  
・破損・火災・けがにつながるおそれがあります。

必ず守る

## ■蛇口の点検

- 蛇口が緩んでいた場合は、蛇口を手で締めてください。このとき、蛇口の吐水口が下を向くようにしてください。



- 蛇口のパッキンは消耗品です。  
交換時期は使用状況により異なります。変形や破損があった場合、お買い上げの販売店などにお問い合わせのうえ、お買い求めください。

### ⚠ 注意

- 蛇口を工具で締めない  
・締めすぎにより破損や水漏れの原因となります。

必ず守る

点検時にひび割れや破損を発見した場合は、使用をすぐに中止し、お買い上げの販売店などにお問い合わせください。

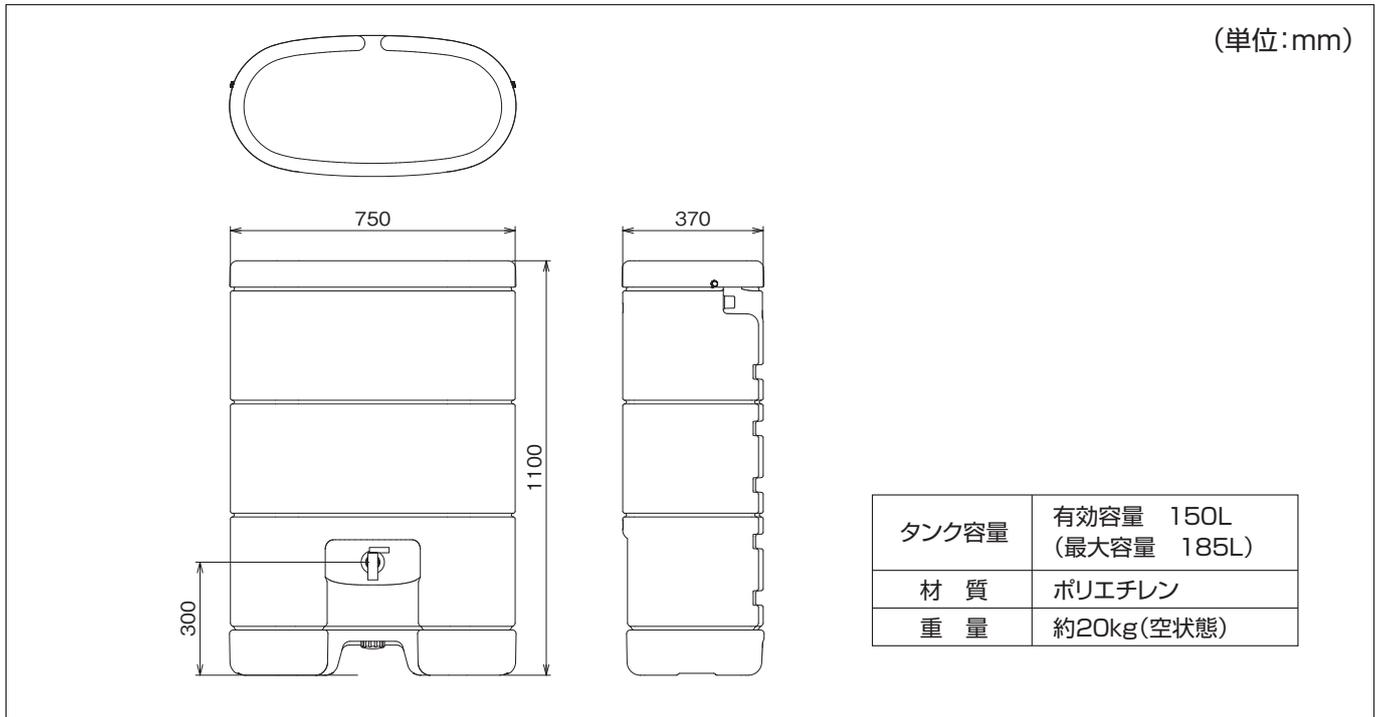
# 故障かな？

症状	原因	対処方法
蛇口を開いても水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク本体に水がたまっていない</li> <li>タンク本体下部もしくは蛇口に砂や泥がたまっている</li> <li>タンク本体内の水が凍結している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク本体内を清掃してください  P.12</li> <li>凍結しているときには使用しないでください</li> </ul>
水の出方が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク本体の残水量が少ない</li> <li>タンク本体下部もしくは蛇口に砂や泥がたまっている</li> <li>蛇口の開き量が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク本体内を清掃してください  P.12</li> <li>蛇口レバーを左にまわしてください  P.11</li> </ul>
タンク本体に水がたまらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>取水ジョイントのフィルターがつまっている</li> <li>ホースが外れている</li> <li>ホースが破損している</li> <li>取水ジョイントが本体よりも低い位置に施工されている</li> <li>ドレンキャップが外れている</li> <li>ドレンキャップがゆるんでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターの清掃をしてください  P.12</li> <li>ホースを正しく接続してください  P.9</li> <li>ホースの交換が必要です</li> <li>取水ジョイントを本体よりも高い位置に施工してください  P.8</li> <li>ドレンキャップを正しく取り付けてください  P.12</li> </ul>
水がにごっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>取水ジョイントのフィルターがつまっている</li> <li>取水ジョイントのフィルターが浮いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターを清掃してください  P.12</li> <li>フィルターを奥まで入れてください  P.12</li> </ul>
蛇口部分からの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛇口がゆるんでいる</li> <li>パッキンが劣化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛇口を手で締め直してください  P.12</li> <li>パッキンの交換が必要です  P.12</li> </ul>
取水ジョイントからの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>取水ジョイントのフィルターがつまっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターを清掃してください  P.12</li> </ul>
ホースからの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホースが正しく接続されていない</li> <li>ホースが破損している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホースを正しく接続してください  P.9</li> <li>ホースの交換が必要です</li> </ul>
排水ジョイントからの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホースが外れている</li> <li>ホースが破損している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホースを正しく接続してください  P.9</li> <li>ホースの交換が必要です</li> </ul>
本体底からの水漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレンキャップがゆるんでいる</li> <li>ドレンキャップにゴミがはさまっている</li> <li>ホースが外れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレンキャップを正しく取り付けてください  P.12</li> <li>ドレンキャップを清掃してください</li> <li>ホースを正しく接続してください  P.9</li> </ul>
フタが外れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタの横のねじを外していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねじを外してください  P.11</li> </ul>
フタが取り付けられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタが前後逆になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタを正しい方向に取り付けてください  P.11</li> </ul>
フタが簡単に外れる、ガタガタする	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタがねじで固定されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フタをねじ(2本)で正しく固定してください  P.11</li> </ul>

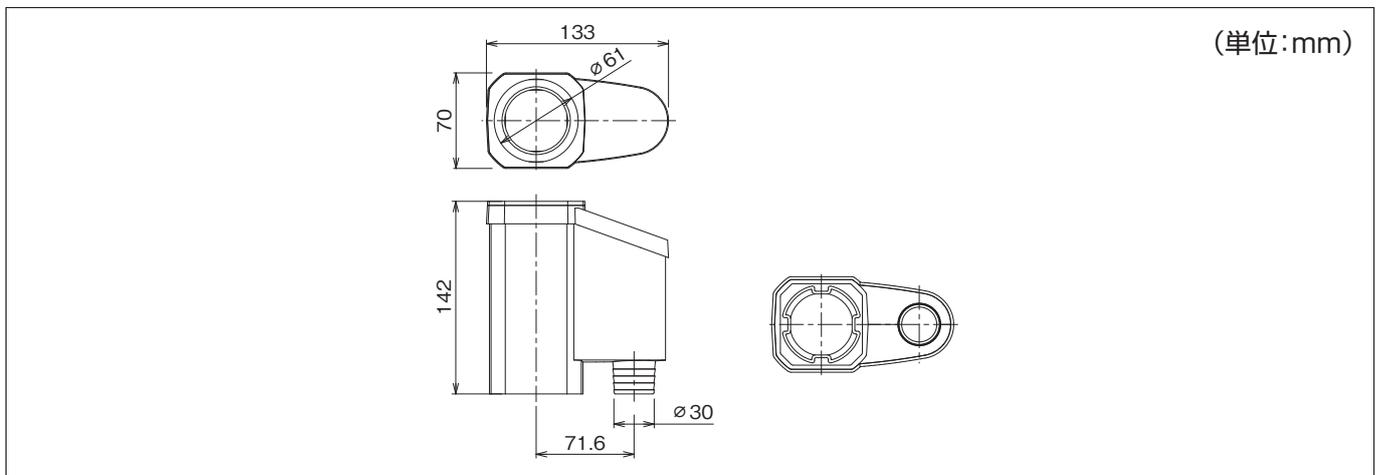
上記の方法でも現象が直らない場合は故障や破損のおそれがあります。  
施工業者もしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

# 仕様

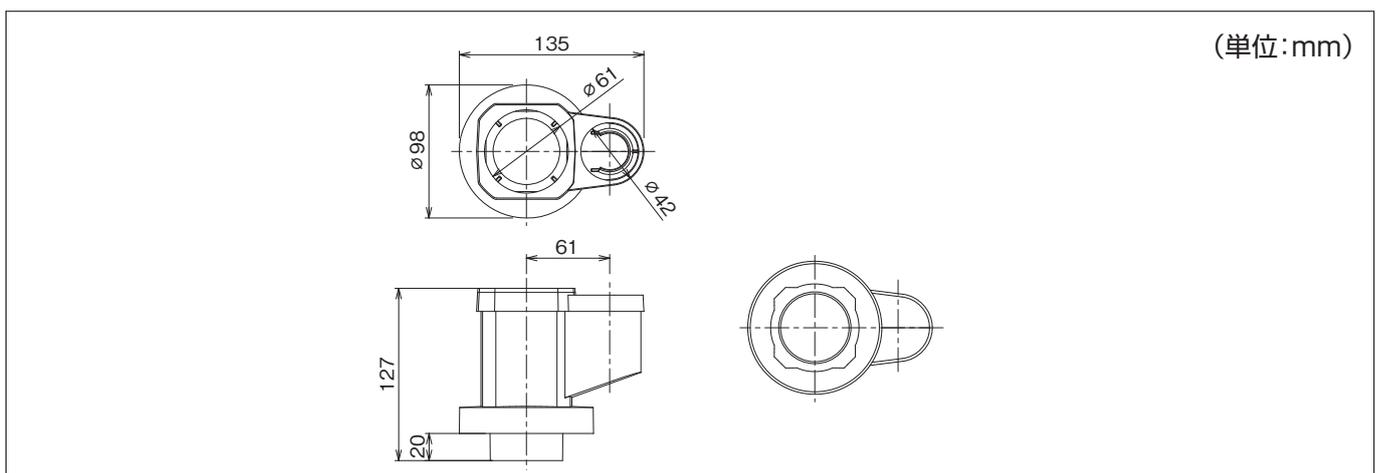
## ■ 雨水タンク



## ■ 取水ジョイント



## ■ 排水ジョイント



## エコリス 雨水タンク 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	平成 年 月 日	
お 客 様	ご住所	様
	お名前	
	電 話 ( )	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ( )	

**東洋エクステリア株式会社**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL (03) 3341-5051 (代)

### 1. 保証者

東洋エクステリア株式会社

### 2. 保証の対象者

当該商品の所有者

### 3. 対象商品

東洋エクステリアブランドで販売しているエクステリア商品

### 4. 保証内容

取付・取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

### 5. 保証期間

当該商品の施工完了日(お引き渡し日)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。

### 6. 免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①取付・取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことによる不具合(例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など)。
- ②取付・取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
- ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの

商品以外に起因する不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合(例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど)。
- ⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など)。
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
- ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取外し含む)に起因する不具合。
- ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合わせください。

— お客様相談室 —

☎0120-171-705

**東洋エクステリア株式会社**

取説コード

**Z411**

201002A\_1009

